



2015年 夜明け

福島県食品衛生協会会長

紺野昭治



二〇一五年、明けました！問題が顕在化する年です。

問題とは？全世界の政治問題、経済問題、社会問題、環境問題、人種問題等です。

問題の顕在化により、世界が大動乱の渦に巻き込まれるわけではありませんが、私はかなり深刻な状況になるような気がしてなりません。何はともあれ、七十億人の地球人の暴走が始まっているのです。この暴走を誰が止めるのか？ノロウイルス、エボラウイルス、ウイルスが暴走を始めている訳で

発行所
公益社団法人
福島県食品衛生協会
郵便番号960-8105
福島市仲間町10番1号
TEL 024(521)4310
FAX 024(523)5674
ホームページhttp://www.fshokyo.jp/
E-mail:fukusimashokyo@fshokyo.jp



は易しです。この地球的危機の真つ只中で、ひたすら守る、ことの困難さ。

日本国・厚生労働省、公益社団

はありません。私たち人間が存在として爆発し、暴走を始めているのです。救いはあるのか？あるないので問題ではありませんね。生きている限り、それを問うのは無意味です。私たちは、食品衛生の立場から救いを求めて行かなければならないのです。

食品等営業者、そして消費者の安全・安心をひたすら守る！言う

新年の御挨拶

福島県保健福祉部長

鈴木淳一



新しい年の初めに当たり、御挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、日頃、県民の食の安全と安心を確保するための各種施策の推進に、多大なる御理

解と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

また、食品衛生指導員による巡回指導の実施を始め、食品衛生思想の普及啓発や自主的な衛生管理の推進を目的とした各種活動に積極的に取り組んでおられることに対しまして、深く敬意を表する次第です。

さらに、貴協会が、昨年四月より公益社団法人として新たな一歩を踏み出されたことを心からお慶び申し上げます。

本県における食の安全・安心の確保につきましては、平成二十四年に策定した「ふくしま食の安全・安心対策プログラム」により、

様々な事業を実施してきたところですが、今年はこのプログラムの改訂を予定しております。見直しにおいては、三年間で実施してきた事業と成果を的確に評価し、新しいプログラムに反映することで、

より質の高い食の安全の確保と安心の実現を図っていきたくと考えております。

特に、「食品中の放射性物質対策」につきましては、引き続き、確実な検査と迅速な情報提供を行

い、県民の皆様の不安解消につなげていきたいと考えております。

また、昨年、県内では「ノロウイルス」、「腸管出血性大腸菌O157」を原因とする大規模な食中毒事件が発生しております。特に、ノロウイルス食中毒に関しましては、例年冬季に発生件数が増加することから、県といたしまし

ても食品事業者等への衛生指導や衛生講習会を行うことにより、発生防止に努めてまいりたいと考えておりますので、会員の皆様におかれましては施設の衛生管理や調理に従事される方の体調管理等を徹底していただきますようよろしくお願いたします。

皆様とともに、食の安全を確保し、安心できる豊かな県民生活の実現に向けて取り組んでまいりたいと考えておりますので、本年も引き続き県政への御理解と御協力をよろしくお願ひ申し上げます。

結びに、公益社団法人福島県食品衛生協会のますますの御発展と、会員の皆様方の御健勝を祈念いたします。新年の御挨拶といたし

ます。

第38回

福島県生活衛生・食品衛生大会
盛大に開催される!

第三十八回福島県生活衛生・食品衛生大会は、十一月十三日に福島県文化センターで開催されました。五十名が出席して開催されました。

第一部の食品衛生指導員、生活衛生同業組合員研究会は、今野生活衛生同業組合連協副会長の開会挨拶に続いて福島県保健福祉部食品生活衛生課渡部勝彦課長の主催者挨拶があった後、食品衛生指導員など四名から体験発表が行われました。座長は、県中保健福祉事務所の大越主任主査、会津保健福祉事務所の谷津専門獣医師が務めました。

表彰(食品衛生功者三十二名、食品衛生優良施設十九施設、優良食品衛生指導員十六名、保健文化賞受賞記念特別表彰(一名)等の表彰状の授与が行われた。平出県議会議長様、福島市長(代理)小林環境部長)様ほかご来賓の皆様方からお祝いの言葉があり、受章者を代表して渡部修正様(会津・カットサロンワタナベ)が謝辞を述べました。最後に食品衛生協会岸副長の閉会の言葉で大会を終りました。

第二部の大会式典では、福島県生活衛生同業組合連協副会今野昇一副会長から開会言葉に続いて、主催者の福島県知事(代理)村田副知事、中野竹治生活衛生同業組合連絡協議会会長、紺野昭治(公社)福島県食品衛生協会会長が挨拶を行いました。

その後、県知事賞(食品衛生優良施設十施設)、県食品衛生協会長



福島県生活衛生食品衛生大会
主催者挨拶 紺野昭治会長



閉会の言葉 岸秀年副会長

《研究集会発表者》
全員が食品衛生指導員
石塚 留蔵(福島市)
食品衛生指導員の活動を通して
郷田 鉄男(浅川町)
食品衛生指導員の役割
大橋 均(いわき市)

福島県知事賞

食品衛生優良施設

福島エーランドエープロイラー株式会社(本宮市)、大丸あすなろ荘(天栄村)、桜乳業株式会社新白河工場(白河市)、水峰(北塩原村)、株式会社大印真宮工場(会津若松市)、株式会社社会津物産(南会津町)、十割そばめんこい(相馬市)、株式会社いとうフーズ石塚工場



食品衛生優良施設代表 太田屋

食品衛生功労者

(郡山市)、株式会社小田原屋(郡山市)、鮎処なが頼(いわき市)

食品衛生優良施設

長澤 明、椎根正光、村田安治、高橋光子(福島市)、菅野健次(川俣町)、佐藤文吉、君島けさの、岸本健之、景山勇喜(郡山市)、渡辺正一、浦山謙一(三春町)、関根秀夫(浅川町)、吉田政元(田村市)、大塚利光(須賀川市)、橋本勝(矢吹町)、中川英子、大堀キヨ、渡部福代、竹俣恒夫、氏家義光、鈴木登志子(会津若松市)、弓田克己(南会津町)、高野雅彦(相馬市)、三浦達夫、横川徳明(南相馬市)、高野 泰(富岡町)、林 義功、塩 昭信、紺野正次、篠原陽子、大平八重子、小宅公三(いわき市)



保健文化賞記念特別表彰 福島県食品衛生指導員協議会 前委員長 吉田保幸

食品衛生優良施設

有限会社多びすやフードセンター、旅館やまと(福島市)、濱蝶、小料理業都枝(伊達市)、レストパブキャッツ(二本松市)、有限会社糀和田屋(本宮市)、かど屋、旅館辻梅(郡山市)、まるよし食堂、あがつま菓子店(須賀川市)、瀧乃家(鏡石町)、太田屋(小野町)、株式会社大黒屋新白河店(西郷村)、スナックセラヴィ、エンジェルドリーム(会津若松市)、dinning g&cafe Sarari(南相馬市)、株式会社鳥久精肉店桜ヶ丘店(相馬市)、支那そば一力、遊食亭栢榴(いわき市)
優良食品衛生指導員
小林好昭(伊達市)、佐々木忠嘉、中澤 泉(二本松市)、嶋津 久(小野町)、吉田清三(三春町)、大山 満(田村市)、箭内孝仁(須賀川市)、大槻久志(西会津町)、

友坂 豊(北塩原村)、山崎 孝、
山岸セイ子(喜多方市)、猪又政樹
(相馬市)、黒田政徳(広野町)、
秋山三男、小泉 雅、見城良二
(いわき市)(敬称略)

保健文化賞受賞記念特別表彰

特別功労者

吉田保幸氏(前福島県食品衛生指
導員協議会委員長)
吉原幸一氏に叙勲

当協会理事であり、昨年まで社
団法人福島県食品衛生協会副会長
として、長年にわたり食品衛生の
向上と協会の運営に尽力された吉
原幸一様が、平成二十六年秋の
叙勲で旭日双光賞を受賞されまし
た。

太田正克氏に県知事賞

平成二十六年五月、当協会理事
で昨年まで社団法人福島県食品衛



優良食品衛生指導員代表 山崎孝氏

第59回 食品衛生表彰の會が開催される

厚生労働大臣表彰に二氏、一施設

長年食品衛生の向上に貢献して
きた会員の皆様、衛生上優秀な施
設を顕彰する平成二六年度「食品
衛生表彰の會」が開催され、厚生
労働大臣表彰と公益社団法人日本
食品衛生協会長表彰の授与式が十月
二十四日、東京都中央区日本橋の
明治座で全国から約千五百名が出
席し、厳かに挙行されました。

生協会副会長であった太田正克氏
が福島県知事から長年にわたり食
品衛生の向上と協会の運営に尽力
された功績に対し、平成二十六年
度食品衛生功労者として表彰され
ました。

今回の表彰で、当協会関係者か
らは、厚生労働大臣表彰で食品衛
生功労者二名、食品衛生優良施設一
施設が受賞するとともに、公益社
団法人日本食品衛生協会長表彰に
食品衛生功労者七名、食品衛生優
良施設四施設が受賞しました。ま
た、食品衛生行政担当者への会長
感謝状が三名の方に贈呈されまし

た。表彰の會は、日食協会長によ
る式辞と厚生労働大臣(代理)の挨拶
があり、それぞれの代表者に表
彰状が授与されました。本協会の
受賞者は次の方々です。

厚生労働大臣表彰

食品衛生功労者

遠藤 忠藏氏(田村市)
阿久津光彦氏(郡山市)

食品衛生優良施設

ホームベーカリー杜のくまさん
(三春町)

公益社団法人日本食品衛生協会会長表彰

食品衛生功労者

幕田 勝寿氏(三春町)
有賀 悌三氏(西郷村)
大河内正造氏(いわき市)
小椋 喜枝氏(会津若松市)
斎藤 靖宏氏(新地町)
丹野 善一氏(伊達市)
大沼 由弘氏(郡山市)

食品衛生優良施設



食品衛生表彰の會

授与が行われました。
本協会から五名の方々が受賞し
ました。受賞者は次の方々です。
優良食品衛生指導員

岩城 重夫氏(国見町)
栗城 重正氏(会津美里町)
松井美代喜氏(須賀川市)
羽柴 幸洋氏(相馬市)

大木 清一氏(白河市)

東日本大震災復興支援物産会の開催

会場内で東日本大震災復興支援
物産会が開催されました。会員か
ら協賛いただき、多くの商品を出
品したところ各商品とも大好評で
完売いたしました。

協賛企業

花春酒造(株)、川俣町農業振興公社、
株喜多方ラーメン本舗、会津天竺
醸造(株)、あぶくま食品(株)、銀嶺食
品工業(株)、小林米菓店、(株)御菓子
処日夏、(有)ぬか茂菓子店、山吉青
果食品(株)(敬称略)

有会社社魚しず(西郷村)
花月堂花屋(二本松市)
郡山ビユーホテル唐紅花
(郡山市)
お弁当市場「あじもり」
(浅川町)
感謝状(食品衛生行政功労者)
吉田 敏明氏
(福島県食肉衛生検査所)

谷津 明彦氏
(会津保健福祉事務所)

第54回 全国食品衛生指導員大会

優良食品衛生指導員日食協理事長表彰に五氏

第五十四回全国食品衛生指導員
大会は、十月二十三日、東京都港
区ヤクルトホールで開催されまし
た。本県から相馬地区の牛渡幸子
さんが「新米食品衛生指導員」とし

て思うこと」と題して被災地区の
給食施設の巡回指導について体験
発表を行いました。
その後、永年の功績が認められ
た食品衛生指導員に理事長表彰の



全国食品衛生指導員大会
牛渡幸子氏(相馬)

「ノロウイルス食中毒予防と対策」講習会

平成二十六年年度「ノロウイルス食中毒予防と対策」講習会を十二月五日、郡山市のビックパレットふくしまで開催しました。(出席者約

二百名) 伊藤副会長の開会の言葉に続き、紺野昭治会長が挨拶し、講演に入りました。はじめ福島県保健福祉



丸山努先生



福島県保健福祉部食品衛生課大内技師



質疑応答



高橋紀男先生

部食品生活衛生課の大内技師から「ノロウイルス食中毒対策について」と題して食中毒の発生状況やその予防対策などの説明がありました。次に公益社団法人日本食品衛生協会学術顧問丸山務先生から、「ノロウイルス食中毒予防のための衛生的な手洗い」と題しまして、ノロウイルスの特徴や手洗いの重要性、なぜ手を洗わなければならないか、など、丁寧でわかりやすい講演がありました。衛生的な手洗いの実演のビデオを放映したあと、有限会社桜舞社長高橋紀男氏(岩手県食品衛生協会食品衛生指導員部会長)から「ノロウイルスによる食中毒事故の経緯とその後(事例)」と題して、実際に経験した食中毒事故について貴重な体験談の講演をいただきました。

受講者は熱心に先生方の講義に聞き入っていました。今回の講習会にあたり、関係機関の皆様にご指導とご協力をいただき、御礼を申し上げます。

北海道・東北ブロック三部会長会議

平成二十六年年度(公社)日本食品衛生協会北海道・東北ブロック三部会長会議は、十月二日(木)

青森県三沢市の「青森屋」で開かれた。本県をはじめ九支部から事務局長、指導員部会長、事務局員

等三十名が出席した。日食協から塚脇一政常務理事、中山課長が出席された。日食協から「広島市土砂災害義援金」の御礼の言葉が述べられるとともに、本年度も「ノロウイルス食中毒予防強化期間事業」を実施すること、「手洗いマイスター制度を創設し、ノロウイルス食中毒の予防のため、手洗い教

平成26年度食品等の自主検査受付日

(平成27年1月から3月)

地区	食品	受付日	受付時間
県北地区 福島	食品	1月21日(水)	
	食品	2月17日(火)	PM①
	食品	3月2日(月)	PM①
	食品	1月14日(水)	
県南地区	食品	2月16日(月)	
	食品	3月4日(水)	
	食品	2月23日(月)	PM①
県東地区	食品	2月5日(木)	PM①
	食品	1月19日(月)	PM②
会津地区	食品	1月28日(水)	
	食品	2月16日(月)	PM②
相馬地区	食品	1月20日(火)	
	食品	2月3日(火)	PM③
いわき地区 内郷	食品	1月27日(火)	
	食品	2月24日(火)	
須賀川	食品	2月2日(月)	
	食品	2月3日(火)	PM③
白河	食品	2月18日(水)	
	食品	1月27日(火)	
保原	食品	2月18日(水)	
	食品	1月27日(火)	
二本松	食品	2月18日(水)	
	食品	1月28日(水)	
田村	食品	2月4日(水)	猪苗代
	食品	2月4日(水)	猪苗代
塙	食品	1月20日(火)	
	食品	2月17日(火)	
若松	食品	1月28日(水)	
	食品	2月4日(水)	猪苗代



主催者挨拶 (伊藤治副会長)

平成二十六年年度食品衛生及び食品の安全確保に関する講習会を、十月二十九日、いわき市総合保健福祉センターで開催しました。岸副



講演「食品放射能、今とこれからを
考える」自然科学研究機構融合科学研究
所 准教授 佐瀬卓也先生

会長の開会の言葉のあと、主催者である会長(代理・伊藤副会長)挨拶があり、引き続き講演に入りました。はじめに福島県保健福

第四回食品衛生指導員全国研修会の北海道東北、関東甲信越ブロック研修会は、九月二十九日、三十日の二日間、東京都目黒区の大橋会館で開催されました。研修会は、開会挨拶の後、厚労省から「厚生労働省におけるHACCP推進の取組み」について、日食協学術顧問丸山務先生から「手洗い指導の理論と実践」について講演がなされました。次に日食協から「日本食品衛生協会の諸事業」について説明があった後、「手

第四回食品衛生指導員全国研修会

洗い指導と食中毒予防について」「自主衛生管理と食の安心・安全」五つ星事業についての二つのテーマで班ごとに討議が行われました。二日目には、手洗いの実践と手洗いマスターの認定テストが行われました。受講者には修了証書と手洗いマスター認定書が交付されました。本県からの受講者は、奥田恵子、橋本正敏、小泉仁一指導員の三名が出席しました。

食品衛生及び食品の安全確保に関する講習会

室などの事業を推進していくことが述べられた。事務局長会議では、「食品衛生責任者養成講習会の状況について」「組織の拡充支援について」など、熱心な質疑応答、討議が行われた。食品衛生指導員部会長会議では、「食の安心・安全・五つ星事業について」「食品衛生指導員の情報交換について」など、今後の指導員活動の活性化について、意見交換が行われた。共済部

会長会議は、「特定保険業代理店登録について」「食品営業賠償共済特別表彰について」の質問要望等が出されました。その他、ブロック協議会、大会及び三部会会長会議の開催年次の確認が行われ、次年度ブロック協議会及び大会は岩手県、三部会会長会議は、札幌市が担当することとなりました。



講演「最近の食品衛生の動向について」福島県保健福祉部食品衛生課

社部食品生活衛生課の本郷副主査から、「最近の食品衛生の動向について」と題し、食中毒の発生状況やノロウイルス食中毒の予防、不

良食品の発生状況、加工食品の放射能検査等詳しく説明していただきました。続いて自然科学研究機構の佐瀬准教授から、「食品放射能、今とこれからの考える。」と題し、放射能の基礎知識やこれからの対応など、イラストを用いるなどしてわかりやすく説明していただきました。参加者は百二十七名と多数の会員の皆様に参加していただき、誠にありがとうございました。また、講習会の開催にあたり、ご指導、ご協力をいただきましたいわき食品衛生協会、いわき市保健所の皆様方に御礼申し上げます。

簡単な細菌検査法

サンコリテップ
フードスタンプ
(大腸菌群・ブドウ球菌 各検出用
一般細菌・腸炎ビブリオ)

(株)小関秀雄商店

福島市北中央三丁目85の1 024-535-1351
郡山市富田町字備前館117の1 024-932-8534
いわき市平北白土字宮田8 0246-35-6630

ふくしん
マイカーローン

適用金利**1.40%**「変動金利型」
(保証料別途)

福島信用金庫

食中毒の発生状況とノロウイルス

食中毒の予防について

「県内の食中毒発生状況」

県内では、平成二十六年の十一月末までに十八件（家庭での食中毒事件六件を含む。）の食中毒事件が発生しています。患者数は四十七名であり、既に平成二十五年の発件数と患者数を上回っています。

平成二十六年は、五十名を超える食中毒事件が三件発生しており、病因物質の内訳は、二件が「ノロウイルス」、一件が「腸管出血性大腸菌O157」となっております。ノロウイルスの食中毒事件の一件は、患者数が一七八名の事件であり、一事件で平成二十五年の一年間の食中毒患者数を上回りました。

一般的に、ノロウイルスを病因物質とする食中毒と感染症は、冬季に多く発生する傾向があります。平成二十六年は十一月末時点で六件のノロウイルス食中毒事件が発生していますが、この全てが一月から三月の期間に発生しています。また、食品を取り扱う施設で調

理従事者がノロウイルスに感染した場合、本人が発生源となつてノロウイルス食中毒を発生させてしまうおそれがあるため、感染性胃腸炎が流行する冬季は特に注意が必要となります。

特に、ノロウイルスはその感染力の強さから、他の食中毒の病因物質と比較して一事件あたりの患者数が多くなる傾向があるため、これからの時期最も注意しなければならぬ食中毒の一つになります。

「ノロウイルス食中毒の予防について」

「予防について」

ノロウイルスは食中毒菌とは異なり、食品中で増殖することはありません。また、非常に少量を摂取しただけで食中毒の症状を起こします。これらことから、「持ち込まない」「拡げない」「加熱する」「つけない」「四原則」による対策が必要になります。ノロウイルスによる食中毒予防の

ため、次のことを守りましょう。
 ○よく手を洗う
 ・必ず石けん等の洗剤を使ってよく洗い、その後は流水で洗い流しましょう。（二回洗いを実施しましょう）
 ・洗った手は、共用のタオルではなく、使い捨てのペーパータオルで拭きましょう。
 ○従事者の健康管理
 ・嘔吐、下痢、腹痛、発熱などの症状のある（あった）方はノロウイルスに感染している可能性があります。施設の管理者は、従事者の健康状態を把握し、従事者自身の体調管理に留意しましょう。
 ・嘔吐、下痢等の症状がある従事者は、直ぐに医療機関を受診しましょう。ノロウイルスによる感染と診断された場合は、施設責任者に伝えるとともに、食品に直接触れる作業には従事しないようにしましょう。
 ・症状が治まった場合でも、その後、約一週間程度は便中にウイルスが排泄されます。長い場合には1か月以上排出されることもあるので、油断は禁物です。
 ○よく加熱する

・ノロウイルスは、八五℃〜九〇℃で九〇秒以上の加熱で失活化するので、食品を調理する場合は中心部までよく加熱しましょう。
 ・また、加熱した食品であっても、加熱後にノロウイルスをつけないよう注意しましょう。

○施設設備の消毒

調理場や調理器具、またトイレなどの消毒には、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）を用いましょう。なお、アルコールや逆性せっけんはノロウイルスの失活化にあまり効果がありません。

「感染防止について」

ノロウイルスに感染した人の嘔吐物が乾燥すると、ウイルスは空气中に浮遊して人の口から感染することがあるほか、嘔吐物や糞便を取り扱った人の手洗いが不十分な場合にはノロウイルスに感染してしまうことがあるなど、人から人へも感染しますので注意が必要です。

・嘔吐物を処理する際は素手で触らず、必ず使い捨て手袋とマスクを着用し、次亜塩素酸ナトリウムを用いてよく消毒しましょう。感

「もっと美味しく、楽しく、健康に」新しい食の世界をサポートします

2014年の豊かな食文化の実現に向け
 食品加工メーカーのリーダーとしてあらゆる
 食品の現場にあり続ける「アобаカセル」
 食中毒防止がお客様に。

HACCP導入のコンサルタント及び
 食品関連資材、衛生資材の提案・製造・販売

aoba kasei

http://www.aobakasei.co.jp/

本社 〒984-8642 宮城県仙台市若林区御町 1-5-6 TEL(022)232-3691 FAX(022)232-



東京 大阪 郡山
 仙台 塩釜 山形
 盛岡 八戸 青森

加工食品の放射性物質検査について

染した人の糞便を取り扱う場合も同様です。

・施設の管理者は、調理従事者を含め、常に職員や利用者等の健康

状態を把握し、人から人への感染や施設の汚染防止に努めましょう。

(食品生活衛生課)

福島県では、東京電力福島第一原子力発電所事故の発生に伴い、食品衛生法の基準値または暫定規制値(以下基準値等という。)を超過した加工食品の流通の未然防止と食品の安全確保を図るため、県内で製造・加工された加工食品等について、中核市を含めた県内8つの保健所で放射性物質の検査を行っております。

検査の結果、食品衛生法の基準値等を超過する放射性物質が検出された加工食品については、製造・加工者に対し出荷・販売の自粛を要請するとともに当該食品の流通が認められた場合には併せて製造・加工者に対し自主回収を要請しております。

これまでの検査結果から、基準値等を超過する食品の数は年々減少する傾向にあります。依然と

して超過の事例が確認されていません。製造・加工した食品を出荷・販売する場合は、引き続き、出荷前に自主検査等を実施し、基準値を超過していないことを確認してください。特に、原料中の放射性物質が濃縮され、基準値等を超過する可能性が高い乾燥きのこ・山菜等の食品については、確実な検査の実施をお願いします。

また、県内で産出される一部の農林水産物については、依然、出荷制限等の措置がとられており、また、食品の製造・加工を行う事業者の皆様は、使用する原料が出荷制限等の対象となっていないことを確実に確認し、食品の製造・加工を行うようお願いします。

(食品生活衛生課)

●加工食品の放射性物質の検査状況(県実施) H26.4月～H26.11月末現在

(1)新基準値が適用される食品

検体区分	セシウムの基準値	検体数	基準値を超えたもの
ミネラルウォーター類・茶飲料	10Bq/kg	12	0
牛乳・乳飲料	50Bq/kg	19	0
一般食品	100Bq/kg	2,411	1
合計		2,442	1

※暫定規制値が適用される食品の検査実績はありませんでした。

(2)あんぼ柿・干し柿の試験的加工品

検体区分	セシウムの基準値	検体数	基準値を超えたもの
あんぼ柿	100Bq/kg	109	3
干し柿	100Bq/kg	130	4
合計		239	7

(3)基準値を超過した食品と公表日

No.	食品名	セシウム(Bq/kg)	製造・加工場所	公表日
1	大豆粕	110	福島市	H26.6.11

Solution Water® 食品工場や厨房の衛生管理に最適です!

ソリューションウォーター®

人にやさしい次亜塩素酸水

ノロウイルス予防に
除菌と消臭のWパワー!

今注目の商品!

ソリューションウォーター専用霧化器

株式会社 カンスイ 電話0247-(44)-1737 FAX0247-(44)-1733
〒960-5341 福島県東白川郡埴町大字台字下福383-19

食協会員の経営安定と消費者保護のために
"あんしんフード君"のおすすめ

~わずかな掛金が経営の安心料です~
(受託会社)

MS&AD 三井住友海上火災保険株式会社
三井住友海上

福島支店 〒960-8031 福島市栄町7-33 福島トヨタビル
福島支店 TEL 024(523)0317

各支部の活動状況

福島県北食品衛生協会

紺野 昭治会長

○食品衛生月間事業○

①「食品衛生懇談会」を開催

平成二十六年八月七日(水)、イオン福島店において食品衛生懇談会を開催しました。

消費者団体や食物栄養について学ぶ大学生を招き、大型食品販売施設の食の安全についての取り組み状況を視察し、視察後は、消費者・行政・食品等事業者の三者による意見交換を行いました。三者それぞれの立場で活発に意見が出され、有意義な懇談会になりました。



食品衛生懇談会

②「食の安全教室」を実施

夏休み中の小学生が利用する学童保育施設に向き、食の安全教室を行いました。

県北保健福祉事務所食品衛生チームの担当職員による講義では、普段の生活の中にも食中毒の危険があることを学び、その予防方法について、家庭でも関心を持つきっかけになったと思います。

また、ブラックライトを用いた手洗いや実習では、当会役員や食品衛生指導員が指導にあたり、楽しみながら手洗いの大切さについて学ぶことができました。

実習後の食品衛生クイズでは、正解者や参加児童に(公社)日本食品衛生協会が発行するリーフレットとタベルマンの下敷きを配布し、食中毒菌について理解を深めることができました。

(株式会社)トニー様より、参加児童へアイスクリームをご提供いただきました。

(実施月日等)

・平成二十六年八月五日(火)

福島市東浜児童センター スタッフ七名

・平成二十六年八月六日(水)

福島市蓬萊児童センター スタッフ六名

○食品衛生指導員活動○

①食品衛生指導員各地区ブロック会議を開催

食品衛生指導員相互の意見交換を行い、巡回指導の活性化と有効性を高めることを目的として、今年度も各地区毎にブロック会議を開催しました。

県北保健福祉事務所担当職員による衛生講習では、食品衛生に関する最新の知識を習得すべく熱心に受講していただきました。

(実施日)

・福島地区 平成二十六年九月二日(火)

パセナカミッセ 出席者三十二名

・保原地区 平成二十六年九月十八日(木)

大廟 出席者十九名

・二本松地区 平成二十六年九月三十日(火)

南智恵子の湯 出席者二十六名

②食品衛生監視員が同行する巡回指導、ATP検査機器を使用した巡回指導を実施

食品衛生指導員による巡回指導の活性化と指導内容の充実を図るため、県北保健福祉事務所の食品衛生監視員が同行す

る巡回指導を実施しました。

今回は、普段の巡回指導に加えて、(公社)日本食品衛生協会より借り入れたATP検査機器を使用してふき取り検査を実施することにより、洗浄不足による食中毒の防止についても指導しました。

巡回した指導員からは、検査結果をその場で確認することができ、洗浄の重要性を再確認することができたと好評でした。

○第2回 県北産「親子で作るまごころ食育お弁当」コンクールの開催○

平成二十六年九月十三日(土)、福島県文化センターにおいて開催しました。

本コンクールは、食をめぐる環境が変化する中、親子での弁当作りを通して、地産地消並びに食育に興味を持たせると共に、親子の絆を深めることを目的として開催しており、昨年に引き続き二回目の開催となります。

県北調理師会、県北地区飲食・食品製造販売グループの共催、県北地方振興局、県北農林事務所、県北保健福祉事務所などの後援で開催し、県北地区の小学校五・六年生親子から二六〇点の応募がありました。

当日は、書類選考による一次審査を通じた、アイデアあふれるお弁当三十八点の審査を行いました。栄養バランスや彩りを考えた、まごころこもったお弁当に、審査員からも笑顔がこぼれました。

審査の結果、最優秀賞一名、他五名の入賞者を決定し、表彰しました。

○冬場の食中毒予防講習会

ノロウイルス流行期前に知っておくべきことへの開催○

平成二十六年十月二十八日(火)、福島県文化センターにおいて開催しました。

食中毒は年間を通して発生しています。が、例年、冬期間はノロウイルスを原因とする食中毒が多発していることから、(公社)福島県食品衛生協会の共催、県

北保健福祉事務所の後援でこの時期に開催しております。

ノロウイルスは人への感染力が強く、特に近年は調理従事者の手を介して大規模な食中毒を引き起こすケースが多いことから、流行期を前に、食品等事業者はもとより、学校、介護福祉施設職員など一九〇名の参加があり、関心の高さがうかがえました。

参加者は、食中毒の予防と対策、衛生的な手洗いについて認識を新たにすると共に、吐瀉物取扱いの実演について熱心に受講していました。

(講習内容)

・食中毒予防の要・衛生的な手洗いについて

講師 (公社)日本食品衛生協会 学術顧問 医学博士 丸山 務先生

・「ノロウイルス食中毒対策について」

講師 県北保健福祉事務所 生活衛生部 衛生推進課 星 賢先生

・「吐瀉物の取り扱いについて」

講師 東京サラヤ株式会社 仙台営業所 齋藤磨里恵先生

郡山食品衛生協会

伊藤 治会長

食品衛生月間事業

(実施期間 平成二十六年八月一日(金)～八月三十一日(日))

実施事業

(1)食中毒防止街頭キャンペーン

街頭キャンペーンにより食品衛生思想の普及・啓発を行いました。

①日時、場所及び参加者

ア)日時

平成二十六年八月一日(金)

午後4時～午後五時

場所

イオン郡山フエスタ店

(郡山市日和町)

みなさまの衛生管理をお手伝いします!!

安全な食品の提供には、自主的な衛生管理が必要です。

食品自主検査、使用水水質検査、栄養成分検査、ふき取り検査、消費・賞味期限設定の検査、放射能測定 など…

<食品衛生法登録検査機関>

公益財団法人福島県保健衛生協会

〒960-8550 福島市方木田字水戸内19-6

TEL: 024-546-0561 bunseki@fhk.or.jp

当協会が、みなさまの衛生管理をサポートいたしますので、是非ご相談ください!!

当協会イメージキャラクター 健康もちもん





バス看板



街頭キャンペーン

事業内容
 ア 食中毒防止のノボリによる広報
 イ 食中毒防止の標語入りうちわ、ステッカーなどの配布
 ウ 食中毒防止対策チラシの配付

参加者
 郡山保健所職員 七名
 郡山食品衛生協会役員及び職員 七名
 郡山食品衛生指導員 八名
 郡山調理師会役員 二名
 計二十四名

日時
 平成二十六年八月七日(木)
 午後三時～午後四時

場所
 ちびっこうねめまつり会場
 (西部プラザ駐車場内・郡山市西ノ内)

参加者
 郡山保健所職員 二名
 郡山食品衛生協会職員 一名
 計三名

平成二十六年九月二十二日(月)
 午後一時三十分～午後三時三十分

日時
 平成二十六年九月二十二日(月)
 午後一時三十分～午後三時三十分

講師
 公益社団法人日本食品衛生協会学術顧問 小沼博隆先生

内容
 食中毒防止のパネル展示
 食中毒防止・手洗いの手順ポスターの配付

開催日
 平成二十六年十月五日(日)
 午前十時～午後三時

開催場所
 郡山カルチャーパーク体育館
 (郡山市安積町)

内容
 食中毒防止のパネル展示
 食中毒防止・手洗いの手順ポスターの配付

開催日
 平成二十六年十月五日(日)
 午前十時～午後三時

開催場所
 郡山カルチャーパーク体育館
 (郡山市安積町)

平成二十六年九月二十二日(月)
 午後一時三十分～午後三時三十分

日時
 平成二十六年九月二十二日(月)
 午後一時三十分～午後三時三十分

講師
 公益社団法人日本食品衛生協会学術顧問 小沼博隆先生

内容
 食中毒防止のパネル展示
 食中毒防止・手洗いの手順ポスターの配付

開催日
 平成二十六年十月五日(日)
 午前十時～午後三時

開催場所
 郡山カルチャーパーク体育館
 (郡山市安積町)

内容
 食中毒防止のパネル展示
 食中毒防止・手洗いの手順ポスターの配付

開催日
 平成二十六年十月五日(日)
 午前十時～午後三時

開催場所
 郡山カルチャーパーク体育館
 (郡山市安積町)

平成二十六年九月二十二日(月)
 午後一時三十分～午後三時三十分

日時
 平成二十六年九月二十二日(月)
 午後一時三十分～午後三時三十分

講師
 公益社団法人日本食品衛生協会学術顧問 小沼博隆先生

内容
 食中毒防止のパネル展示
 食中毒防止・手洗いの手順ポスターの配付

開催日
 平成二十六年十月五日(日)
 午前十時～午後三時

開催場所
 郡山カルチャーパーク体育館
 (郡山市安積町)

内容
 食中毒防止のパネル展示
 食中毒防止・手洗いの手順ポスターの配付

開催日
 平成二十六年十月五日(日)
 午前十時～午後三時

開催場所
 郡山カルチャーパーク体育館
 (郡山市安積町)



パネル展示

平成二十六年九月二十二日(月)
 午後一時三十分～午後三時三十分

日時
 平成二十六年九月二十二日(月)
 午後一時三十分～午後三時三十分

講師
 公益社団法人日本食品衛生協会学術顧問 小沼博隆先生

内容
 食中毒防止のパネル展示
 食中毒防止・手洗いの手順ポスターの配付

開催日
 平成二十六年十月五日(日)
 午前十時～午後三時

開催場所
 郡山カルチャーパーク体育館
 (郡山市安積町)

内容
 食中毒防止のパネル展示
 食中毒防止・手洗いの手順ポスターの配付

開催日
 平成二十六年十月五日(日)
 午前十時～午後三時

開催場所
 郡山カルチャーパーク体育館
 (郡山市安積町)

平成二十六年九月二十二日(月)
 午後一時三十分～午後三時三十分

日時
 平成二十六年九月二十二日(月)
 午後一時三十分～午後三時三十分

講師
 公益社団法人日本食品衛生協会学術顧問 小沼博隆先生

内容
 食中毒防止のパネル展示
 食中毒防止・手洗いの手順ポスターの配付

開催日
 平成二十六年十月五日(日)
 午前十時～午後三時

開催場所
 郡山カルチャーパーク体育館
 (郡山市安積町)

内容
 食中毒防止のパネル展示
 食中毒防止・手洗いの手順ポスターの配付

開催日
 平成二十六年十月五日(日)
 午前十時～午後三時

開催場所
 郡山カルチャーパーク体育館
 (郡山市安積町)

平成二十六年九月二十二日(月)
 午後一時三十分～午後三時三十分

日時
 平成二十六年九月二十二日(月)
 午後一時三十分～午後三時三十分

講師
 公益社団法人日本食品衛生協会学術顧問 小沼博隆先生

内容
 食中毒防止のパネル展示
 食中毒防止・手洗いの手順ポスターの配付

開催日
 平成二十六年十月五日(日)
 午前十時～午後三時

開催場所
 郡山カルチャーパーク体育館
 (郡山市安積町)

内容
 食中毒防止のパネル展示
 食中毒防止・手洗いの手順ポスターの配付

開催日
 平成二十六年十月五日(日)
 午前十時～午後三時

開催場所
 郡山カルチャーパーク体育館
 (郡山市安積町)



ノロウイルス対策講習会 食中毒菌と食中毒防止対策

平成二十六年九月二十二日(月)
 午後一時三十分～午後三時三十分

日時
 平成二十六年九月二十二日(月)
 午後一時三十分～午後三時三十分

講師
 公益社団法人日本食品衛生協会学術顧問 小沼博隆先生

内容
 食中毒防止のパネル展示
 食中毒防止・手洗いの手順ポスターの配付

開催日
 平成二十六年十月五日(日)
 午前十時～午後三時

開催場所
 郡山カルチャーパーク体育館
 (郡山市安積町)

内容
 食中毒防止のパネル展示
 食中毒防止・手洗いの手順ポスターの配付

開催日
 平成二十六年十月五日(日)
 午前十時～午後三時

開催場所
 郡山カルチャーパーク体育館
 (郡山市安積町)

平成二十六年九月二十二日(月)
 午後一時三十分～午後三時三十分

日時
 平成二十六年九月二十二日(月)
 午後一時三十分～午後三時三十分

講師
 公益社団法人日本食品衛生協会学術顧問 小沼博隆先生

内容
 食中毒防止のパネル展示
 食中毒防止・手洗いの手順ポスターの配付

開催日
 平成二十六年十月五日(日)
 午前十時～午後三時

開催場所
 郡山カルチャーパーク体育館
 (郡山市安積町)

内容
 食中毒防止のパネル展示
 食中毒防止・手洗いの手順ポスターの配付

開催日
 平成二十六年十月五日(日)
 午前十時～午後三時

開催場所
 郡山カルチャーパーク体育館
 (郡山市安積町)

平成二十六年九月二十二日(月)
 午後一時三十分～午後三時三十分

日時
 平成二十六年九月二十二日(月)
 午後一時三十分～午後三時三十分

講師
 公益社団法人日本食品衛生協会学術顧問 小沼博隆先生

内容
 食中毒防止のパネル展示
 食中毒防止・手洗いの手順ポスターの配付

開催日
 平成二十六年十月五日(日)
 午前十時～午後三時

開催場所
 郡山カルチャーパーク体育館
 (郡山市安積町)

内容
 食中毒防止のパネル展示
 食中毒防止・手洗いの手順ポスターの配付

開催日
 平成二十六年十月五日(日)
 午前十時～午後三時

開催場所
 郡山カルチャーパーク体育館
 (郡山市安積町)

平成二十六年九月二十二日(月)
 午後一時三十分～午後三時三十分

日時
 平成二十六年九月二十二日(月)
 午後一時三十分～午後三時三十分

講師
 公益社団法人日本食品衛生協会学術顧問 小沼博隆先生

内容
 食中毒防止のパネル展示
 食中毒防止・手洗いの手順ポスターの配付

開催日
 平成二十六年十月五日(日)
 午前十時～午後三時

開催場所
 郡山カルチャーパーク体育館
 (郡山市安積町)

内容
 食中毒防止のパネル展示
 食中毒防止・手洗いの手順ポスターの配付

開催日
 平成二十六年十月五日(日)
 午前十時～午後三時

開催場所
 郡山カルチャーパーク体育館
 (郡山市安積町)

お店でのカラオケ・生演奏・BGMの著作権手続きはお済みですか？

JASRACは、お店でのカラオケ利用をはじめ、さまざまに利用される音楽の著作権を管理しています。JASRACに支払われた使用料は、作曲家・作曲家などに分配され、次の作品を生む糧となります。カラオケ・生演奏・BGMなどで音楽を利用されるお店のご経営者の方は、JASRACへ著作権のお手続きが必要となりますので、下記の支部までお気軽にお問い合わせください。

著作権使用料の例

- カラオケ
月額 3,500円(客席面積33㎡まで)
- BGM
月額 6,000円(店舗面積500㎡まで)

*別途消費税相当額が加算されます

JASRAC 日本音楽著作権協会 仙台支部 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-3-10 仙台本町ビル10F Tel. 022-264-2266 Fax. 022-265-2706

防を呼びかけました。石川地区は残念ながらゲリラ豪雨で中止となりましたが、後日各地区で配布していただきました。

◎広報活動
大型小売店等へ食品衛生月間ポスターを配布しました。また、県中保健所の敷地内に「食中毒防止のノボリ」を設置しました。

「ノロウイルス食中毒の予防と対策」講習会の開催
十一月から一月までのノロウイルス食中毒予防強化期間に合わせ、福島県食品衛生協会後援で平成二十六年十一月一日(月)に「ノロウイルス食中毒の予防と対策」講習会を開催しました。飲食店(仕出し・弁当)関係者・菓子製造業者・集団給食施設設置者及び従事者・食品衛生指導員等一二五名が受講しました。

県中保健所食品衛生チーム主任主査鈴木和則先生より「ノロウイルス食中毒の予防と対策について」のご講義をいただきました。食中毒の発生状況やノロウイルス食中毒について、事例を基に詳しい説明がありました。次に、イオンリテール株式会社東北カンパニー総務部お客さまサービスグループ木戸優満先生より「ノロウイルス食中毒対策について」現場の立場からのご講義があり、イオンが実施している食中毒対策について詳しくご説明いただきました。

今後ともポスターやリーフレットを配布するなど、啓発活動を行っていきます。

県南食品衛生協会

太田 稔会長

食品衛生月間事業

◎街頭キャンペーン

白河・西白河地区、東白川地区において県南保健所衛生推進課、食品衛生チームの職員、食品衛生協会役員、食品衛生指導員協議会役員、食品衛生指導員等の

方々で食中毒啓発ロゴ入りTシャツを着用し食品衛生の普及・啓発を行いました。白河・西白河地区は八月六日、白河市にあるベイシア白河モール店頭で、東白川地区は八月七日、棚倉町のヨークベニマル棚倉店頭で行いました。標語入りうちわ、ウェットティッシュ、下敷き等を配布して食中毒予防を呼びかけました。協会役員の松本英一さんが、今年も腹話術でキャンペーンを盛り上げてくださっていました。

保健福祉事務所玄関前に食中毒予防のノボリを設置し広報しました。

◎小学生の食の安全教室夏期講座

八月一日、食品衛生月間に合わせて県南保健所衛生推進課食品衛生チーム主催により管内の春雪さぶる(株)サガミハム白河工場に於いて、県南地方の小学五・六年生を対象に一般的な食肉製品の歴史等の講話、製造室の見学、ソーセージ作りの製造体験をしてもらいながら、食品の安全確保に関する食品等事業者の取り組みについて学んでもらいました。

◎視察研修

十月二十八日・二十九日の二日間、食品衛生協会、食品衛生指導員協議会、県南調理師会合同の視察研修会を実施しました。一日目は、群馬県太田市の「AGF関東(株)テレビのコマーシャルでもお馴染みのインスタントコーヒの工場です。コーヒの出来るまでを担当者から丁寧な説明を受け、工場内を案内していただきました。工場内には、数多くのゴミ箱が駆除の箱が置いてありました。聞けば、ゴミ箱が置いてあるからではなく、いなしことの証明とのことでした。

工場から出る一般廃棄物は一〇〇％リサイクルで、常に世界レベルのクオリティを追求、地球にやさしく、からだにうれしい商品作りに取り組まれているそうです。また、上州名物「からっ風」でも知られる群馬ということ、風やほこりの影響を受けないよう建物配置から内

部の随所に特徴や工夫が施されています。

翌日は、高崎市にある「ガトーフェスタハラダ本社工場」で、玉様のおやつで有名な洋菓子店の生産工程を見学しました。従業員は、皆マスクを同じ格好をしているので、帽子の色で正社員、パート、管理職と区別し、生産工程で異常が発生した場合に直ぐ報告できるようにしているとのことでした。

パン生地作りから成形、発酵、焼き上げまで、すべて専用マシンで、最後はアイムロボットが合格基準を満たした商品だけを拾い包装されていきます。高品質な製品を大量生産する工夫が製造ラインに見受けられました。

敷地内には、売店もあり、セルフでコーヒを自由に飲めることから、大勢のお客さんで賑わっていました。

◎ノロウイルス予防対策講習会

十一月から一月までのノロウイルス食中毒予防強化期間の合わせ、県南保健所の協力をいただき、講習会を実施いたします。

*日程

平成二十六年十二月十二日(金)
午後二時から午後三時半まで

*場所

サンフレッシュ白河・研修室

*参加予定者 九十名

*講師

(公社)日本食品衛生協会

技術参事 田中豊隆氏

県南保健所衛生推進課

食品衛生チーム職員

会津食品環境衛生協会

吉原幸一会長

活動状況

◎食品衛生指導員研修会の開催

食品衛生月間に先立ち、七月十八日(金)に會津稽古堂に於いて食品衛生指導員の



ノロ講習会

親子食の安全教室

研修会を開催いたしました。保健所の食品衛生監視員から食品営業施設の巡回指導ポイントを中心に、食品衛生についてわかりやすい講話をいただきました。また、日本食品衛生協会の新田課長様、福島県北食品衛生協会の岸副会長様より食の安心・安全五つ星事業の説明及び推進の仕方などの説明をいただきました。

◎食品衛生月間事業

・街頭キャンペーンの実施

食品衛生指導員(延べ参加指導員数二十名)を中心に、会津保健福祉事務所職員とともに、食中毒啓発ロゴ入りTシャツ及びたすきを着用し、食中毒啓発用リーフレット・除菌ウェットティッシュをセットにして配布し、食中毒防止の啓発を行いました。また、お子様向けに食中毒予防下敷きを配布し、手洗いの大切さを呼びかけました。

八月一日(金) COOP BESTA

ひがし前

八月四日(月) リオン・ドール坂下中央

食の安全のためのトータル検査機関

福島衛生検査所

(福島県衛生検査所登録機関)

- 1 検便等の検査
- 2 ちゅう房等の作業環境の殺菌・衛生管理
- 3 各施設での衛生講習会

*お問い合わせは福味商事(株)の方へお願いします。

食品工場・厨房の衛生管理のご提案

サラヤ 特約店

福味商事株式会社

福島県本宮市本宮字舘町161番地2
TEL. 0243(34)2328 FAX. 0243(33)2086

自動殺菌コントローラー I.R.Cシステム

安全な食品は清潔な環境から



作業環境の微生物をコントロールして微生物汚染の危険度を下げるシステムです。

店前
八月十一日(月) アピタ会津若松店 前
親子食の安全教室の開催
八月八日(金)に山際食彩工房で開催。親子で食品製造(ハンバーグ作り)後、真空パック加工を体験し、食の安全確保に関する取り組みについての理解を深めました。昼食後、会長を交えての情報交換が行われました。

・広報活動
大型量販店等へ食品衛生月間ポスターを配布
月間中、保健所の玄関前に食中毒防止のノボリを設置

○研修視察旅行
九月一日(月)～二日(火)に出席者三十六名で研修旅行が実施され、森永製菓小山工場を見学いたしました。磯部温泉、舌切雀のお宿に宿泊し、親睦を深めました。二日目には世界遺産に登録された富岡製糸場を見学、煉瓦造りの建物にスケールの大きさと歴史を感じる事が出来ました。

○「ノロウイルス食中毒の予防と対策」講習会の開催
十一月二十七日(木)午後二時～午後四時
日時
場所 会津若松ワシントンホテル
会津若松ワシントンホテル
講習内容
・近年の食中毒発生状況について
講師 福島県会津保健福祉事務所生活衛生部衛生推進課
課長 海老名裕二様
・ノロウイルスによる食中毒の予防と対策について・衛生的な手洗いについて
講師 公益社団法人日本食品衛生協会
技術参与 田中豊隆様
参加者
食品関係営業者、学校、病院及び福祉施設等職員 一八五名

南会津公衆衛生協会 渡部佳弘会長

平成二十六年下半期活動内容について

- ◆食品衛生指導員研修会及び定期総会
1 日時 平成二十六年八月十一日(火) 午後一時～三十分
2 場所 南会津保健福祉事務所会議室
3 出席者 食品衛生指導員 十名
4 研修会
1)「食品衛生の動向」について
福島県南会津保健福祉事務所衛生推

進課坂本知行課長より食中毒発生状況・加工食品等の放射性物質検査について衛生講話をいただきました。
2)「平成二十六年巡回指導の重点指導項目」について
南会津地区食品衛生指導員連絡協議会五十嵐芳道会長が講師になり、六月十九日に行われた食品衛生指導員研修会「平成二十六年巡回指導の重点指導項目」について伝達講習を行いました。

- 3)「食の安心・安全五つ星事業」について
(公社)日本食品衛生協会日本食品衛生協会共済部経理課新田課長・(公社)福島県食品衛生協会で中島眞一専務理事を迎え「食の安心・安全・五つ星事業」に積極的に推進いただきました。

5 総会
平成二十五年年度事業報告・平成二十六年年度事業計画(案)が承認されました。食品衛生指導員委嘱状交付が行われ10名の食品衛生指導員が委嘱された。

- ◆街頭キャンペーン
1 日時 平成二十五年八月十二日(火) 午後四時
2 場所 (株)ヨークベニマル田島店
3 実施者 南会津公衆衛生協会・南会津地区食品衛生指導員連絡協議会・南会津調理師会・南会津保健福祉事務所職員
4 内容
消費者に対し、食中毒予防と食品衛生意識の向上を図るため、街頭キャンペーンをヨークベニマル田島店にて標語入りうちわ、食品衛生に関わるチラシパンフレット等を配布し食中毒防止を呼びかけました。

◆平成二十六年度食の安全・安心に関わる消費者・事業者・行政の懇談会
1 日時 平成二十六年十月二十四日(金)午後二時
2 場所 南会津保健福祉事務所会議室

3 出席者 消費者・行政・南会津公衆衛生協会会長・南会津調理師会長・南会津地区食品衛生指導員 十八名
4 内容
1)「食の安全・安心に関する衛生行政の現状について」と題して福島県南会津保健福祉事務所職員による講演
2)消費者、食品関連事業者、南会津保健所職員による「食の安全・安心」をテーマとした意見交換

相馬地区食品衛生協会 太田正克会長

相馬地方のチビッコ大活躍

平成二十六年度食品衛生月間キャンペーン活動として、七月二十日(土)バー Jaysモール店頭において、南相馬市内小学生野球チームジュニア・メッツが、手を洗いまししょうの広報活動に大活躍しました。子供たちから手渡させるキャンペーングッズに、お買い物ママさんのお顔はさわやかです。

ノロウイルス講習会始まる
十一月から六回に分けて、ノロウイルス講習会を開催しています。第一回は、本部中島専務を講師に、第二回は、東京サラヤインストラクター、そして、一月から開催の講習は、相双保健所食品衛生監視員に担当いただきます。今後開



食品衛生キャンペーン

カップ・楯・トロフィー・バッジ
表彰楯・カップ・バッジ・メダル・校旗・団旗・優勝旗・金銀盃
銅器・花瓶・各種漆器・木盃・帽章・ボタン・各種記念品
ライオンズクラブ国際協会公認指定
美光 株式会社
〒960-8074 福島市西中央3丁目26-15 E-mail: bikoo@agate.plala.or.jp
TEL: 024 (534) 0255 FAX: 024 (534) 6857 http://www.uyu.gr.jp/bikoo/

ウイルス対策は!!
手指の除菌から..
食品添加物アルコール製剤
セハノールSS-1
業務用厨房の清潔環境づくりをお手伝い!!
株式会社 セルージャパン
東京都台東区台東 1-32-8 http://www.seh-j.com
☎03-3839-7531(代表) FAX03-3839-7532

催予定の講習会は下記のとおりです。

一月十五日(木) 道の駅南相馬観光交流館

一月二十二日(木) 相馬市はまなす会館

一月二十七日(火) 道の駅南相馬観光交流館

二月五日(木) 相馬市はまなす会館

「4年目の春を迎えて」

相馬食品衛生協会

副会長 松水 雄一

二〇一一年三月十一日の東日本大震災とそれによって引き起こされた東京電力福島第一原子力発電所の事故から四年を経とうとしています。

この四年間に今まで経験のしてこなかったいろいろな事が起きてその出来事の当事者として私たちは暮らしてきました。遅々として進まない復興への歩みはぶつけようのない苛立たしさを感じさせます。

そんな中、人の口に入る物に携わる私たちの業界はそれまでであった「安全安心」と言う四字熟語を誠意をもって遵守してきたつもりでしたが、原発事故によって発生した放射線への不安からの風評被害によって四字熟語は「安全」と「安心」の二字ずつ分かれてしまい容易に以前の「安全安心」の四字熟語には戻りません。数値的にいくら安全と説いた所で消費者に芽生えた「安心できない」心を溶かすのは簡単ではありません。こう言う時だからこそ私たちは「安全」を一つ一つ丁寧に積み上げて「安全安心」を確かな四字熟語を取り戻すのが責務と想っております。

いわき食品衛生協会

越田和尨充会長

食品衛生月間事業

①街頭キャンペーン

八月一日午後三時より、マルト岡小名

店、イオンいわき店、マルト中岡店の市内三ヶ所で一斉に行った。

参加者八十七名がメッシュベスト・帽子を着用し、オリジナルBOXティッシュとリーフレットを「食中毒を予防しましょう」など声をかけながら配布し、食中毒防止の啓発を行った。

また、メイン会場のマルト岡小名店では、開始式イベントとして、フラダンス教室「ハーライヴ ラウトラニ」様による、フラ・タヒチアンダンスを披露してもらい、キャンペーンを盛り上げた。

②食中毒事故防止に関するコーナーの設置
月間期間中、いわき市総合保健福祉センター一階フロアに展示スペースを設け、食中毒事故防止のポイントなどを掲示し、パンフレット・リーフレット等を置き来客者へ啓発を行った。

③広報活動

食品衛生月間用マグネットを作成し、

保健所公用車及び食協役員・指導員の営業車等に貼り付け広報活動を行った。

また、月間期間中、地元企業の(株)マルト様、イオンいわき店様の協力を得て、食品折込広告に「食中毒を予防しましょう」等の掲載協力を頂き、一般市民へ食中毒防止の啓発を行った。

視察研修会

平成二十六年九月二十四日～二十五日に食品衛生協会、調理師会、食品衛生指導員協議会合同の視察研修会を実施いたしました。

東京都町田市にあります公益社団法人日本食品衛生協会の食品衛生研究所を視察してきました。

各種検査室等の見学や、手洗いチェックカードを使った手洗いの衛生指導などを学んできました。

自分は大丈夫、完璧!と思いつつながら、参加者全員念入りに手を洗ったはずなのに、予想外にも、洗い残しがあることに驚きました。

自分の手洗いの癖や、洗い残しの箇所などが分かり、すぐ改善できる食中毒予防。改めて、手洗いの重要性を再認識した有意義な研修となりました。

①「ノロウイルス予防対策啓発に関する事業」講習会
平成二十六年十二月二日に開催し、今年で3回目となります。

これから空気が乾燥し、感染しやすい時期を迎える前に、適正な情報・知識を習得していただけるよう開催し、参加者は八十九名となりました。

講師に、いわき市保健所生活衛生課食品衛生係技術主任 鈴木博様を招き、「ノロウイルス食中毒の予防と対策について」、株式会社マルト衛生指導部課長 小泉仁一様を招き、「食品流通におけるノロウイルスによる食中毒対策について」のご講義をいただきました。

②ノロウイルス食中毒予防啓発コーナー



ノロウイルス予防講習会



ノロウイルス予防啓発コーナー

の設置

強化期間中、いわき市総合保健福祉センター一階フロアに展示スペースを設け、手洗いのポスター等を掲示し、パンフレット・リーフレット等を置き来客者へ啓発を行っている。

①ATP測定器の貸出

希望する組合へ貸出を行い、巡回指導時にご利用しております。

ATP測定器の良い所は、結果がすぐに数字でわかるので、指導員と業者がお互い目で確認でき、手洗いの指導や調理場の衛生状態等の改善などがその場で行えるところとあって、とても好評です。

②手洗いチェックカードの貸出
社内研修や従業員の衛生教育等に是非お役立てください!

お気軽にご相談ください。

ART SCREEN PRINTING & ADVERTISEMENT
ENDOSCREEN
有限会社 エンドースクリーン

- ステッカー ●ラベル ●マグネットシート ●のぼり・横幕・厨章・たすき ●ゼッケン
- 旗・ペナント・ワッペン ●金属・プラスチックスタンド・ネームプレート ●ポスター
- 各種看板・表示板 ●クリアファイル ●各種カード・カードケース ●カレンダー
- 交通安全用品 ●販促用品 ●ギフト用品 ●各種 ●オリジナルストラップ

PHONE 024-531-3180 FAX 024-531-3468
〒960-8204 福島市岡部字岡部9-2
E-mail endo-screen@proof.ocn.ne.jp

食品添加物総合卸

株式会社 **ショクテン** TEL 022-232-4431

仙台市若林区大和町2-4-12

(営) 札幌、八戸、弘前、石巻、気仙沼

(公社)福島県食品衛生協会推奨優良食品



このマークのシールがはられた食品は福島県食品衛生協会の推奨品です。県内で製造加工される食品のうち、特に食品衛生に配慮し、味と品質にすぐれたものを“優良食品”として認定したものです。

(優良食品・添加物)

県北食品衛生協会管内		
柚子の故里	銀嶺食品工業(株)	024(557)0341
けしまんじゅう	(有)一味庵	024(542)4591
大 鵬 瓦	豊 嶋 屋	024(542)3521
薄皮福々和饅頭 柚子饅頭	(株)福々和本舗	024(531)2929
おんせんたまご	(株)森 山	024(595)2014
阿武隈の紅葉漬	福島紅葉漬(株)	024(577)0658
高上和尚漬	(有)高七商店	024(572)2605
奥州手延麺	(株)み う ら	0243(23)0028
安達太良そば	(有)岡田屋製麺所	0243(22)0578
洗心亭(最中)	(有)御菓子処日夏	0243(22)0063
本官銘菓梅の実	ベーカリーヌカザワ	0243(33)2319
郡山食品衛生協会管内		
薄 皮 饅 頭	(株)柏 屋	024(924)5511
家 傳 ゆ べ し	(株)か ん の 屋	024(962)1616
ま ま ど お る	(株)三 万 石	024(956)1111
県中食品衛生協会管内		
あぶくまの天然水 じゅうねん	田 村 市	0247(78)2111
地 酒 三 春 駒	佐 藤 酒 造(株)	0247(62)2816
須 賀 川 麵	(株)高 橋 製 麵	0248(73)2088
味の麺高級麺詰合せ	(有)井 桁 屋 本 舗	0248(75)3622
母 畑 ダ ム	恵 び す 屋	0247(26)1082
県南食品衛生協会管内		
奥州路羊かん	御菓子司清寿	0248(23)2623
白河名物おきな餅	(有)鈴木松月堂	0248(23)2568
白河関のそば	(株)白河関のそば	0248(23)2310
棚 倉 藩	甘 盛 堂	0247(33)3056

会津食品環境衛生協会管内

生めん会津ラーメン	(株)えどやブース	0242(27)0187
天 然 味 噌 漬	会津天宝醸造(株)	0242(23)1616
清酒上扇末廣	末 廣 酒 造(株)	0242(54)7788
榮川純米吟醸酒	築 川 酒 造(株)	0242(22)7530
清酒花春鶴水 純米吟醸酒	花 春 酒 造(株)	0242(26)3000
蔵の里よむぎめん はすぬま元祖生ラーメン	(有)永 善	0241(22)0543
会津ほまれ勇気百倍	ほまれ酒造(株)	0241(22)5151
華 こ う じ	マルコウ醸造(株)	0241(22)1818
本場の味喜多方ラーメン	(有)曾 我 製 麵	0241(22)4020
会津のべこの乳ヨーグルト 会津のべこの乳発酵コーヒー特急	(株)会津中央乳業	0242(83)2324

南会津公衆衛生協会管内

桜枝岐の裁ちそば	(株)奈 良 屋	0241(62)0156
伽羅助(しょうゆ漬け)	(有)平野物産店	0241(78)2532

相馬地区食品衛生協会管内

野馬追絵巻	(有)亀屋菓子店	0244(23)3531
手づくり切もち 福島名産凍もち	(有)木 乃 幡	0244(23)2374
味付のり優印 味のり優印 おむすびのり	東北水産加工業協	0244(36)5226
ふくしまリンゴジュース	佐 藤 農 園	0244(62)3181
フランクフルトソーセージ	(株)タ ン ポ ポ 村	0244(46)4633



(公社)福島県食品衛生協会推奨優良施設



この標識を掲げている施設は、食品衛生法に基づき許可を受けた施設のうちに、特に食品衛生に配慮し、安全な食品の提供に心がけている“優良施設”として福島県食品衛生協会が認定した施設です。

(優良施設)

県北食品衛生協会管内		
(株)ホテル聚楽	024(542)2201	飲食店(旅館)
(有)萬清	024(522)4239	飲食店(料理・仕出し)
摺上亭大鳥	024(542)4184	飲食店(旅館・料理店)
(有)越後屋そば店	024(523)0158	飲食店(一般食堂)
(有)割烹寿しかんだ	024(546)2661	飲食店(一般食堂・丸屋・料理店)
(有)板倉旅館	024(523)1221	飲食店(旅館)
(有)吉川屋	024(542)2226	飲食店(旅館)
鳥よし	024(565)3763	飲食店営業(軽食堂)
ホテル光雲閣	0243(24)2101	飲食店(旅館)
陽日の郷あづま館	0243(24)2211	飲食店(旅館)
アサヒビール園福島本宮店	0243(33)1661	飲食店(ビアレストラン)
(有)菓匠清泉堂	024(557)1758	菓子製造業
(有)佐久間パン店	024(585)2422	菓子製造業
(株)福々和本舗	024(531)2929	菓子製造業
さくらや	024(542)4174	菓子製造業
ムラヤマベーカリー	0243(33)5858	菓子製造業
森永乳業(株)福島工場	024(545)0136	乳製品製造業 アイスクリーム類製造業
(有)本間食肉店	024(582)3203	食肉販売業
トニチ(株)	024(552)2161	食品の冷凍又は冷蔵業
(株)ヤクルト本社福島工場	024(546)8960	乳酸菌飲料製造業
内池醸造(株)	024(554)6581	みそ・醤油製造業
大七酒造(株)	0243(23)0007	酒類製造業
(有)扇田食品	024(566)3633	豆腐製造業
池田食品工業(株)	024(553)8311	めん類製造業
コープ食品(株)東北工場	024(553)3351	かん詰・びん詰食品製造業
森藤食品工業(株)	024(586)1233	漬物製造業
福島紅葉漬(株)	024(577)0658	漬物製造業
山吉青果食品(株) 桑折工場	024(582)3838	食品の冷凍 又は冷蔵業
郡山食品衛生協会管内		
(株)福豆屋	024(923)0539	飲食店(仕出し・弁当)

(有)三松会館	024(932)0173	飲食店(一般食堂)
旭館	024(945)2469	飲食店(すし)
(株)ホテルハマツ	024(935)1111	飲食店 (ホテル・レストラン・仕出し・料理店)
(株)郡山ビューホテル	024(924)1111	飲食店(ホテル・料理店)
(株)郡山ビューホテルアネックス	024(939)1112	飲食店(ホテル・料理店)
(株)柏屋	024(924)5511	菓子製造業
(株)三万石	024(956)1111	菓子製造業
(有)なかやパン店	024(932)2133	菓子製造業
(株)大友パン店	024(923)6536	菓子製造業
(有)鈴芳パン店	024(933)9792	菓子製造業
(有)坂内菓子舗	024(932)1266	菓子製造業
(株)富多屋生麺	024(943)1177	めん類製造業
県中食品衛生協会管内		
(有)若松屋	0247(62)2027	飲食店(旅館)
西田屋支店	0247(72)2024	飲食店(旅館)
(株)八幡屋	0247(26)3131	飲食店(旅館)
(有)大畑屋食品	0247(62)3309	豆腐製造業
県南食品衛生協会管内		
(有)吉田屋	0248(23)3064	飲食店(一般食堂)
新富家会館	0247(33)3237	飲食店(料理・一般食堂)
(株)棚倉開発	0247(33)3193	飲食店(レストラン)
会津食品環境衛生協会管内		
(株)生粋	0242(26)3300	飲食店(料理店)
玉の湯旅館	0242(65)2611	飲食店(旅館)
(有)田村屋旅館	0242(64)3421	飲食店営業(旅館)
(株)裏磐梯高原ホテル	0241(32)2211	飲食店(旅館)
吉原製菓	0242(54)3247	菓子製造業
ゴールドハウス目黒	0241(32)2523	飲食店(旅館・ドライブイン)
(株)太郎庵	0242(83)3267	菓子製造業
(株)会津中央乳業	0242(83)2324	乳処理業
末廣酒造(株)	0242(54)7788	酒類製造業
榮川酒造(株)	0242(22)7530	酒類製造業
花春酒造(株)	0242(26)3000	酒類製造業

相馬地区食品衛生協会管内		
(南)ホテル扇屋	0244(23)4147	飲食店(旅館)
(資)亀屋菓子店	0244(23)3531	菓子製造業



いわき食品衛生協会管内		
カルチェド シャンプリアン	0246(58)4122	飲食店(料理店・仕出し)
錦月製菓	0246(62)5826	菓子製造業
(株)かねまん本舗	0246(39)3360	魚肉ねり製品製造業
青木食品工業(有)	0246(39)3555	魚肉ねり製品製造業

(公社)福島県食品衛生協会推奨優良衛生機器類

食品を製造・加工・調理・保管を行うとき、衛生上役立つと認められる機器類を“優良衛生機器”として福島県食品衛生協会が認定したものです。

(優良衛生機器類)	アルボース石けん液ホーム容器	新和商事(株)郡山営業所	024(922)2639
	薬液噴射機ジェットパーフェクター	(株)協和エムザー	024(923)5035
	シャボネット石鹸液ユム	福味商事(株)	0243(34)2328
	自動殺菌コントローラー(IIRCシステム)ネオラックSB	福味商事(株)	0243(34)2328
	アルコール除菌剤 セハノール78	(株)セハージャパン	03(3839)7531
	アルコールスプレー セハー80	(株)セハージャパン	03(3839)7531
	室内用捕虫器 セハー ^{むし} ピタ ^{ちゅう} 虫	(株)セハージャパン	03(3839)7531
	ホタテクト(パウダー) ホタテクト(水溶液)	笠原工業(株)	0248(75)3131

食の安心・安全・五つ星店

平成26年12月末日現在

支所名	店 舗 名	住 所
福島県北	サンダースレストラン	福島市栄町5番1号中合6F
	ふくしま桃園	福島市栄町5番1号中合6F
	(株)福々和本舗	福島市松浪町4-18
	御山角屋	福島市大明神7
	サンキスト	福島市天神町15-35
	珍満寶館	福島市北町2番1号
	そば処 喜多八	福島市天神町14-22
	みずほ	福島市土船字中谷地48
	粹心庵八幡	福島市森合字中谷地9-31
	お食事処寿しむさし	福島市吉倉字前田18-1
	談妃留	福島市飯坂町字錦町7-9
	有限会社ビグミー	福島市飯坂町平野字小金塚88-1
	かねすい智恵子の湯新館	二本松市油井字八軒町81
	相模屋	二本松市小浜字反町10
	レストランテ バッカナーレ	二本松市本町2丁目167-5
	有限会社穢和田屋	本宮市本宮字上町22
	有限会社ぬか茂菓子店	本宮市本宮字馬場98
	トーニチ株式会社	福島市瀬上町字新田中通1-3
	有限会社兼匠清泉堂	福島市南沢又字柳清水19-16
	株式会社ホテル聚楽	福島市飯坂町字西滝ノ町27
福島紅葉漬株式会社	伊達市梁川町希望ヶ丘10	
カラオケ件	伊達市保原町上保原字上ノ原34-9	

支所名	店 舗 名	住 所
福島県北	岩城肉店	伊達郡国見町大字農田字南70
	有限会社萬清	福島市新町3-22
	(株)モンジュー セントヒルズ店	福島市荒井字横塚3-182
	大扇	伊達市保原町6丁目12-3
	(南)井上商店	二本松市若宮2丁目164番地の18
	大亀楼	福島市御山中屋敷23-1
	たけだパン	福島市山下町1-2
	スナック しらさぎ	福島市飯坂町字東堀切11-8
	摺上亭大鳥	福島市飯坂町字中ノ内24番地の3
	亀寿司	福島市太田町25-12
郡 山	(株)いとうフーズ安積センター	郡山市安積町荒井字河葉池7-19
	(株)いとうフーズ石塚工場	郡山市宇石塚1-2
	浅源精肉店	郡山市大町1-12-3
	福島牛焼肉牛豊朝日店	郡山市朝日町二丁目3-34
	福島牛焼肉牛豊八山田店	郡山市喜久田町字四十担10-3
県 中	うさぎや	郡山市富久山町久保田字久保田74-1
	須賀川中央ミート有限会社	須賀川市池ノ下町62-4
	農産物直売所はたけんぼ	須賀川市卸町54
	農産物直売所はたけんぼ(とうふ工房)	須賀川市卸町54
	農産物直売所はたけんぼ(おやつ工場)	須賀川市卸町54
機グランシア須賀川店 グランフーズ須賀川	須賀川市旭町6-11	

謹 賀 新 年

— 平成27年 迎春 —

監	監	監	理	理	理	理	理	理	理	理	專	副	副	会	(公社) 福島県食品衛生協会
事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	務	会	会	長	
蓮	猪	丹	齋	越	高	太	渡	吉	太	野	中	岸	伊	紺	
沼	俣	野	藤	田	野	田	部	原	田	木	島	秀	藤	野	
超	久	善	幸	俣	泰	正	佳	幸	稔	彰	眞	年	治	昭	
男	久	一	子	充	泰	克	弘	一	稔	彰	一	年	治	治	

あとがき

昨年、県内では三月を最後にノロウイルスによる食中毒は発生していません。これは、食協のノロウイルス食中毒予防と対策講習会の成果、手洗いの徹底、洗い残しのない二度洗いが徹底された成果と思いたいところですが、油断大敵です。従事者全員が日食協推薦の衛生的な手洗いを毎日の習慣としましょう。

講習会は県食協と地区食協で九回開催し、合計一、三七〇名の方が受講しました。関心の高さがうかがえます。定員を超えて受講をお断りした方には申し訳ありませんでした。

公益社団法人移行後、公益事業の充実を目指しているところですが、ノロウイルス食中毒対策講習会は食協にしかできないものです。さらに「頼りになる食協」を目指していきましょう。「ノロウイルスは手洗いでつけない！加熱でやっつける！」です。

「食協の五つ星店」も指導員の皆様のお陰で徐々に増加しています。

日頃の取り組みを消費者にアピールし、安心を提供するため、多くの方に登録をお願いしたいと思います。多くの消費者に「食協の五つ星店」を知っていただくようがんばって参りましょう。

(公社) 福島県食品衛生協会 特別会員

- 公益財団法人福島県保健衛生協会
- 三井住友海上火災保険(株)福島支社
- 日本自動販売協会東北支部
- 青葉化成(株)郡山営業所
- 新和商事(株)郡山営業所
- 福味商事(株)
- 福島県漬物協同組合
- (株)マイルドクリーン東日本
- 笠原工業(株) (順不同)

公益社団法人 福島県食品衛生協会

福島県北食品衛生協会	会長 紺野 昭治 ☎(024)531-1328
郡山食品衛生協会	会長 伊藤 治 ☎(024)935-2918
県中食品衛生協会	会長 野木 彰 ☎(0248)75-4128
県南食品衛生協会	会長 太田 稔 ☎(0248)23-6789
会津食品環境衛生協会	会長 吉原 幸一 ☎(0242)28-6121
南会津公衆衛生協会	会長 渡部 佳弘 ☎(0241)63-0308
相馬地区食品衛生協会	会長 太田 正克 ☎(0244)24-3224
双葉地区食品衛生協会	会長 高野 泰
いわき食品衛生協会	会長 越田和俣充 ☎(0246)27-8605

今後の日程

- 一月十五日(木) 新春賀詞交換会 (東京都)
- 一月二十三日(金) 地区食品衛生協会 会長及び職員研修会
- 一月二十三日(金) 郡山市ピクチャー
- 三月二日(月) 食品衛生特別講演会
- 三月二十日(金) 公益社団法人日本食品衛生協会理事会、全国支部長会議
- 三月 公益社団法人福島県食品衛生協会 第六回理事会